

# 第1回 学校運営協議会だより

令和4年6月3日  
横浜市立山王台小学校  
校長 遠藤 清美

6月1日(水)に、今年度、第1回目の「学校運営協議会」が行われました。その際にいただいた意見などを紹介させていただきます。

## 1 学校運営協議会とは？

学校と保護者や地域の皆さんがともに知恵を出し合い、学校運営に意見を反映させることで、一緒に協働しながら子ども達の豊かな成長を支え「地域とともにある学校づくり」を進めるしくみです。学校運営協議会を設置した学校をコミュニティ・スクール（CS）と呼びます。



## 2 PTAとの違いは？

地域や保護者の皆様のご協力が必要なことは同じですが、次のような違いがあります。

	学校運営協議会	PTA
主な目的	地域とともにある学校づくりのための議論	校外を含めた児童の健全育成
主な活動	学校運営の基本方針承認や、意見申述など	児童の思い出づくりや、校外における安全確保、学校の環境整備等に関する活動
構成メンバー	地域、保護者、学校の代表者	保護者、教職員
委員会・役員会等	なし	あり

## 3 誰が中心となって進める？

学校運営協議会が中心となって進めていきます。今年度のメンバーは次のとおりです。よろしくお願いいたします。

#### 4 第1回 学校運営協議会の内容

- 学校経営の方針、教育の重点について
- 学校教育目標実現に向けた「三つのプラン」について
- 学校行事について 等

学校に関する最近の出来事や、地域とともにある学校のあり方について、活発な議論がなされました。次は、いただいたご意見の一部です。

- ・パトロール中に子ども達に声をかけたいが、子どもによっては反応のない者もいる。家庭の事情など、様々な要因があると思われるが、学校ではどのように指導しているのか。
- ・挨拶の仕方など、学校だけで指導する問題ではなく、家庭での躰も大切であると思われる。家庭での教育もしっかりとされているか、どうなっているのか知りたい部分がある。
- ・保護者が、近所の人と気軽に挨拶ができる姿勢を見せれば、子どもにも伝わると思う。
- ・挨拶で人とのつながりができる。保護者としては「挨拶の持続性」が大切だと思う。
- ・今の子ども達は、内気な性格、人から見られてどう思うか躊躇してしまう子が多い。
- ・人間性を育てるために、時間をかけて、じっくりと子どもを育てていく必要がある。
- ・子ども達同士の関わりだけでなく、大人も含めて、いろいろな人に対応する能力をつけさせることが大切ではないか。
- ・地域の方が学校について、子ども達についてどのような考えをもっているかを、教職員がしっかりと共通理解していくことが大切である。そして、子ども達にはそれぞれの学年に応じた、それを噛み砕いて伝え、教えていくことが必要。
- ・マスクをして子ども達が1年間を過ごしていくのは気の毒である。何等かの形でマスクを外して活動する機会を作っていただけたらと思う。
- ・1年生は初めて会う子とのかかわりが、マスクで奪われている。残念だが、マスクを外しにくい状況が出来上がっている。今後の動向次第でもるが、心理的な面からも皆がマスクを外す状態に戻るのには難しい。
- ・地域の子どもの様子、会話から、認めて欲しいと思っている子どもが多い。
- ・子ども達の行動を見ていると、学校ではなく、家庭教育の大切さを実感する。
- ・学校の「三つの教育プラン」がどのように変容していくか、土曜参観、研究授業で見させてもらいたい。

様々なご意見を通し、今後、保護者を含めた地域の皆様と学校が手を取り合い、子ども達にとっても、地域にとってもよりよい学校を目指していけるよう努力してまいります。